

令和3年12月22日

白河市教育委員会

12月定例会会議録

令和3年12月白河市教育委員会定例会会議録

日 時 令和3年12月22日(水)
開 会 午後3時30分
閉 会 午後5時13分

場 所 白河市役所 地下第1会議室

報告事項

- (1) 教育長報告
- (2) 各課所報告

○ 出席委員

教育長 芳賀 祐司 1番委員 高橋 顕 2番委員 北條 睦子
3番委員 沼田 鮎美 4番委員 瀧澤 学

○ 欠席委員

なし

○ 出席説明員

教 育 部 長	水野谷 茂	教 育 総 務 課 長	田崎 修二
学 校 教 育 課 長	稲川 竜寿	生涯学習スポーツ課長	近内 友明
中央公民館長	根本 純子	図 書 館 長	中沢 孝之
健康給食推進室長	鈴木 正美	学 校 教 育 課 主 幹	長田修一郎

○ 書記

教育総務課課長補佐 高久 忠雄 教育総務課主査 大塩 健一

○ 傍聴人 なし

【午後 3 時 3 0 分開会】

日程第 1 開 会

○教育長

これより令和 3 年白河市教育委員会 1 2 月定例会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

日程第 2 会期の決定

○教育長

次に日程第 2 会期の決定ですが、白河市教育委員会会議規則第 4 条の規定により、本日 1 日間といたします。

日程第 3 書記の指名

○教育長

次に日程第 3 書記の指名を行います。書記には教育長において高久教育総務課課長補佐、大塩教育総務課主査を指名します。

日程第 4 教育長報告

○教育長

次に日程第 4 教育長報告に入ります。それでは、私から 2 点報告いたします。

まず 1 点目ですが、本日 1 2 月 2 2 日で任期満了となります北條睦子委員ですが、1 2 月議会において議会の同意を得て、引き続き教育委員を務めていただくことになりましたので、ご報告いたします。後ほどご挨拶をいただきます。

2 点目ですが、1 2 月議会ではたいへんお世話になりました。今回の一般質問で G I G A スクール構想について質問がありましたが、1 1 月の授業支援アプリの 1 日あたりのログイン数を児童生徒数で割った平均ログイン数が 6 3 %であったように、学校の差はある程度あるものの積極的に活用していることがわかります。タブレットの有効な活用についてさらに研修していきたいと思えます。

なお、補正予算案はすべて可決しましたので、ご報告します。以上です。

日程第5 議 事

○教育長

次に日程第5議事に入ります。それでは、議案第48号「図書館の休館について」を議題とします。内容の説明を求めます。

○市立図書館長

議案書に記載しました期間について、白河市立図書館規則第6条第1項の規定により、特別整理期間として図書館を休館するため、白河市教育委員会の承認を得ようとするものです。

○教育長

これより質疑に入ります。ただいまの説明に対し、質疑をお受けいたします。

(質疑なし)

これにて質疑を終了いたします。これより採決いたします。議案第48号は原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

(異議なしの声)

ご異議なしと認めます。よって本案は原案のとおり可決されました。

日程第6 各課所報告

○教育長

次に日程第6各課所報告に入ります。はじめに、本日追加しました「令和3年12月31日付け白河市教育委員会職員人事異動について」であります。人事案件のため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定により、非公開とすることにご異議ございませんか。

(異議なしの声)

ご異議なしと認めます。よって、同案件については、後ほど報告することといたします。それでは、教育総務課から順次報告をお願いします。

(教育総務課長から順次報告)

○教育長

それでは、これより一般質問に入ります。各課所報告及び本市の教育行政一般に関し、ご質問をお受けいたします。

○高橋委員

学校教育課の報告事項、12月20日のコーディネーション指導者養成研修会についてお聞きします。荒木先生に来ていただいて、研修会を継続して行っていることはとても良いことだと思います。ただ、実施する時期が遅いように思いました。1学期に実施できれば、2学期、3学期と長い期間、子どもたちと関わりが持てるので、指導者として学んだことをより子どもたちに伝えられると思います。なぜこの時期なのでしょう。

○学校教育課長

毎年実施していたものですから、ある程度学校に定着していると思っていたのですが、異動もあり、参加した先生のほとんどが初めてでした。そのため、よくわからないで取り組んでいた先生も多く、もっと早く知りたかったとの声が先生方からありました。今回の時期については、荒木先生のスケジュールの関係が大きかったのですが、今年度このような反省点ができたことを踏まえ、次回の設定をする場合は、時期をもう少し前倒しできないか考えております。

○高橋委員

コーディネーショントレーニングについては、各校にDVDが配付されていますので、それぞれの学校の中で、共通の勉強の機会を持つように進めていたかと思いますが、DVDを活用した勉強会、特に他地区から来た方や、新しく先生になられた方へのコーディネーションの理解については、学校任せでは難しい状況なのでしょう。

○学校教育課長

学校には、そのような教材が配られております。また、個人で勉強したい方にも配付する体制をとっていますが、学校でどのような研修を行っているのかは、把握しきれていないところがあります。各校でコーディネーションを積極的に取り入れていただけるようお願いしておりますが、各校で研修の時間を確保することは難しいのが現状であると感じております。そのため、市教委主催の研修会が大事になってくると感じております。

○高橋委員

徳島県から荒木先生に来ていただくのは、コロナの関係があると難しいと思いますので、これまで使用した教材を用いて、指導者の勉強する場を年度の早い時期に考えても良いのかと思います。荒木先生のご指導は、スケジュールやコロナのこともありますので、この時期でも良いのかと思いますが、早い時期に、こういったものがあって、こういった使い方をして欲しいということを知ってもらおう機会を企画しても良いのではないかと思います。

○学校教育課長

何とか早い時期に開催できるよう模索していきたいと考えております。また、荒木先生のもとで、コーディネーション学習をしている小野覚久先生、足利短期大学で准教授をされている方ですが、週に1回程白河に来ていただいて、幼稚園を回ったりして下さっておりますので、先生にも協力いただきながら、各校の研修についてサポートできるのではないかと考えております。市教委主催の研修会についても、今回の反省を活かしながら、前倒しできないか考えていきたいと思っております。

○瀧澤委員

大信学校給食センターの報告事項、12月7日の高校生のための栄養教室についてですが、この教室は光南高校から要請があったのでしょうか。また、他の学校からも要請があった場合は実施するのでしょうか。

○健康給食推進室長

今回は学校から直接教諭に要請がありました。他の学校から要請があった場合についてですが、現在栄養教諭は2人のため、すべてに対応できるかどうかは分かりませんが、食育は大事なことでありますので、できる限り実施していきたいと思っております。

○瀧澤委員

これから高校を卒業し、自宅を出て自炊をする機会が増えるでしょうから、このような授業は大変良いと思います。他の高校でも、特に高校3年生を中心に実施していただくと良いと思います。

○沼田委員

学校教育課の報告事項についてですが、五箇中と大信地区の保護者説明会や報告会の内容と進捗状況を教えてください。

○学校教育課長

まず、五箇中統合保護者代表委員会についてですが、今年度、保護者の代表に集まっていたいただいて、随時、懸案事項について慎重に検討してきました。検討結果につきましては、保護者の方に文書でお知らせしており、また、定期的に地域の方にも進捗状況を文書でお知らせさせていただいております。今年度の懸案事項についての話し合いが一通り終わったものですから、改めて保護者の方にお集まりいただいて、今年度1年間の懸案事項について、このような形で協議をして、整理をしましたといった報告をさせていただきました。また、その内容につきましても、保護者の方に文書を、地域の方にも概要をお配りして、ご理解を求めました。大信地域小学校統合準備委員会につきましては、総務、通学、学校運営、PTAの大きく4つの部会に分かれており、それぞれ会合を開いて話し合いをしていただいております、まとまった内容を報告いただいたということです。

○沼田委員

大信地域は4月から統合されるかと思いますが、特に問題は起きなかったのでしょうか。

○学校教育課長

新しい学校の開校に向けて、地域の方と一つにまとまって、有意義な話し合いをしていただいたのかなと考えております。特に大きなトラブルや懸案もなく、建設的な話し合いが進んでいたと考えています。

○沼田委員

五箇中の統合についてですが、今の五箇小の6年生は、中学3年生になる年から中央中に通うことになるかと思いますが、来年五箇中ではなく、中央中に通われる予定の子どもはいるのでしょうか。その人数については把握しているのでしょうか。

○学校教育課長

学区は保護者が選択するものではございません。保護者の方が住所を変更するなどの理由で、中央中の学区内に移動すれば中央中の学区になりますし、そのまま五箇中の学区に住まわれる場合は、五箇中に通っていただくことになります。

○北條委員

公民館についてご質問させていただきます。4地区それぞれの公民館で、特色ある講座が開かれておりますが、例えば、大信公民館の12月9日、1月19日の歴史と小説の講座は、歴史好きからすれば垂涎の的だと思いますが、このような歴史的な講座が開かれるのは、中山義秀さんを輩出している土地柄なののでしょうか。それとも、他の公民館でもこのような歴史的な講座が開かれる予定があるのでしょうか。どのような形で講座の内容が決められるのでしょうか。

○中央公民館長

それぞれの公民館には、学校教育や社会教育に関わった社会教育指導員がいて、それぞれの地域の特色、受講者の人数等を確認して、教室の企画、運営を行っております。中央公民館においても、文化財課の職員や専門の方などを講師として、歴史講座を今年度開催しました。大信公民館の歴史と小説の講座につきましては、中山義秀記念文学館の植村館長が歴史に詳しい方ですので、植村館長と公民館のコラボとして協議し、決定しました。

○北條委員

スマホ教室は現代の生活に必要なもので、中央公民館以外の公民館でも行われるようになったことは大変良かったです。源氏物語の講座についてですが、こちらも人気があり、お勤めが終わってから受講したい人もいます。今後そのような予定はございますか。

○生涯学習スポーツ課長

源氏物語の講座は、寄付講座として開催しております。寄付をしていただいた方より、原文でこそ分かる表現の解釈などの講座を行って欲しいという要望を受けて始めたもので、約60名の方が参加されており、日曜の午後と月曜の午前中に開催しております。検討段階ではありますが、今後、初心者でも参加できるような講座も検討しているところです。その際には、開催日や時間等について、調整をしたいと考えているところでもあります。

○教育部長

補足であります。もともと日曜日の午後ということで始まり、定員を超えてしまったので、先生にお願いして、月曜日の午前中にも行っていただけることとなりました。コロナ対策として、各20名の人数で行っていましたが、最近コロナが収まってきたので、抽選に溢れた人にも声を掛け、参加してもらっている状況です。

○瀧澤委員

五箇中の統合についてですが、現時点で地域から反対や要望などの意見は出ていますか。

○学校教育課長

今年の年明け後、統合について、地域の方に説明をさせていただきました。その後もさらに詳しく説明するため、五箇の各地区を回らせていただき、説明会をさせていただきました。その中には、統合に慎重な方もいるわけですが、参加者全体のお話を伺うと、むしろ統合を進めてもらいたいということでありました。当然ながらすべての地域の方が、統合に賛成されているわけではないと思います。しかし、地域全体としては、子どもたちの今後の教育環境を考えたときに、統合した方が良いのではないかという考えになっていると我々は捉え、統合に向けた準備を進めております。それらを踏まえて、統合に向けた不安の解消、検討を行うため、保護者の代表にお集まりいただき、1年間話し合いを行ってまいりました。今後も統合までの間、懸案事項や検討課題が出てきましたら、随時、丁寧に不安の解消に努めてまいります。

○瀧澤委員

教育委員として、地域の方などから統合の状況について聞かれた際、答えて良いものについては答えたいと思いますので、保護者の方や地域の方にお配りした資料で、公表できるものがございましたら、見せていただくことはできますか。

○学校教育課長

保護者代表委員会で検討した内容、保護者の方、地域の方にお配りした資料などがございますので、配付させていただきたいと思います。

(資料を配付し、同資料について説明)

○沼田委員

1月9日の成人式についてお聞きします。オミクロン株が出てきましたが、成人式は予定通り開催されるのか、教えてください。

○生涯学習スポーツ課長

当日はコミネスに参集していただいて式典を行います。会場への入場は成人者のみとなります。保護者は入場不可となりますので、オンライン中継を同時に行うことを考えております。

また、今年のゴールデンウィークにオンライン開催を実施した際、市内3箇所に設置したフォトスポットが好評でありましたので、今回も引き続き設置する予定です。現時点においては、参集方式で開催したいと考えておりますが、状況が大きく変わり、緊急事態宣言等により県内での移動制限などがあつた場合は、状況を見ながら、開催できるか慎重に検討していかなければならないと考えております。

○沼田委員

緊急事態宣言などが出た場合の対策についても考えているということによろしいのでしょうか。万が一の場合の連絡についても大事だと思います。

○生涯学習スポーツ課長

万が一、緊急事態宣言などが出るような状況となった場合ですが、延期とするのか、オンライン開催とするのか、その時の状況により、市としての判断を行うこととなります。変更とする場合ですが、郵送でのお知らせは年内発送が期限となるため、その後に残ってしまった場合は、ホームページなどを使いながら、連絡の対応をしたいと考えております。

○高橋委員

図書館についてお聞きします。大信地域の小学校統合により、小学校の数が減少したことで、移動図書館も少なくなるのかと思いますが、移動図書館は機動的な活動ができるものなので、回数を増やすとか、別な地区に出向くとか、何か考えはあるのでしょうか。

○市立図書館長

学校と大信図書館で話し合い、低、中、高学年といった学年ごとに訪問できないかを検討しているところです。機動力があれば別な地区も回りたいと思いますが、車自体が老朽化していることもありますので、今後については、協議をしていかなければならないと考えております。

○教育長

これにて一般質問を終了いたします。

日程第7 その他

○教育長

次に日程第7その他に入ります。各課所の取組や課題などについて、ご意見ご質問等がありましたら、この場で取り上げたいと思いますが、何かございますか。

○沼田委員

先月、中学生が同級生を刺した事件がありましたが、白河市ではQ-Uテスト等で対策をしているかと思いますが、早期発見のための現状の対策はどのようになっているのかお伺いします。また、いじめの件数なども分かればお伺いします。

○学校教育課長

いじめ防止条例に基づいて、学校では、いじめ対策の要項、計画を作り、各校でそれに基づいて、いじめの早期発見、早期対策に取り組んでいます。各校では、生活のアンケート調査という形で、子どもに対して年5回調査を行い、悩みごとを拾い上げております。また、保護者を対象とした調査も年3回行っております。その他、様々な場面で子どもたちの変化をキャッチするように努めており、教育相談の場やスクールカウンセラー、場合によっては保護者と連携したり、医療機関に繋いだり、様々な子どもたちの変容のキャッチに努めています。また、Q-Uテストを年に2回、すべての学校で取り組んでいます。クラスの中でその子の状態について、Q-Uテストである程度分析することができます。クラスの中で何か課題を抱えている子を早期に洗い出して関わるなど、いじめはないものではなく、あるものだという前提で、アンテナを高くして関わっています。また、仁のこころを育むということで、小学生の思いやりブックトークや、中学生のいじめフォーラムを実施するなど、白河市では、いじめをなくすための取組みに力を入れているものと考えています。今年度のいじめの件数ですが、11月末現在で小中併せて、前年度比で若干増えておりますが、この件数は、子ども同士でちょっとしたトラブルが起きて、それをいじめとして捉えてカウントしています。なるべく広く解釈、認知して、その中からそのトラブルが深刻にならないうちに関わろうという支援を行っています。文部科学省でも、いじめの件数がたくさんあがってくることは、それだけアンテナを高くしている証拠であって、問題はその中で、深刻ないじめに悩んでいる子を見つけ、どのように早期に関わるかが大切だと示しており、我々も学校にはそのように話をして、些細なトラブルでも認知し上げるよう指示しております。

○沼田委員

ありがとうございます。担任の先生には相談したけれども、そこから教頭先生、校長先生には報告があがってなくて、担任の先生だけが抱えてしまっている、そこで全然動いていないといった問題をテレビ等で見ましたが、市内は全体で共有できるシステムになっているのでしょうか。

○学校教育課長

いじめの問題は、担任一人で解決できるような単純な問題ではありませんので、各学校では、生徒指導や、いじめに対応するための委員会を定期的を開いております。その中で、各学年、学級からあがってきた情報を共有し、組織として、どのように関わったら良いのか、「担任だけではなく、学年主任もまざりましょう。」とか、「スクールカウンセラーに繋ぎましょう。」など話し合いながら対応しております。また、子どもたちにもいろいろな相談窓口を紹介しております。白河市教育委員会の中にも専用の電話回線がありますし、県などいろんなところにそのような窓口があります。今年度から、教育課程の中でSOSの出し方を教えることになっておりますので、このような窓口を子どもたちに教えることで、二重、三重に、子どもたちのSOSをキャッチできるような体制がとれるよう努めています。

○沼田委員

英検の検定料が上がり、その額は、本会場、準会場によって違うようですが、値上がりによって教育格差が生まれるので、都内の高校生が検定料を上げないで欲しいといった署名活動をしているものをテレビで見ました。教育委員会としては難しいかと思いますが、教育格差を生まないために何かできることはないかと思い、提案させていただきました。

○学校教育課長

高校入試において、検定の有無による合否への影響については、高校側の判断であります。検定をもっているか、もっていないかで大きく合否が変わるものではないと考えます。

○沼田委員

もう1点ですが、吹奏楽部の活躍する場が全然ないので、卒業式や入学式で演奏したいといった声がありました。卒業式については、昨年と同様の形で考えているのでしょうか。どのように考えているのか教えてください。

○学校教育課長

例年どおりの卒業式が今年度できるのか、今の段階での判断は非常に難しいかと思えます。ここ2ヶ月の間だけ見てみれば、従来の状態に戻してあげられるような気もいたしますが、現在のオミクロン株の状況として、一両日でも世の中の受け止め方が変わりつつあります。年末年始の帰省の時期もあり、もうしばらく様子を見る必要があると考えています。子どもたちにとって大切な式でありますので、どのような形になっても、子どもたちの思い出深い式にしてあげられるよう教職員も我々も同じ想いでいると思えます。学校とよく協議をしながら、校長会等でも検討しながら進めていきたいと思えます。

○教育長

それでは、「令和3年12月31日付け白河市教育委員会職員人事異動について」の報告に入りたいと思っておりますので、これより非公開といたします。

(以下非公開)

○教育長

それでは、全ての日程が終了しましたので、以上で、白河市教育委員会12月定例会を閉会いたします。

【午後5時13分閉会】